

平成29年度 庄原市学校図書館研修会

- 日時：平成29年6月5日（月） 14：00～16：40
- 場所：庄原市総合体育館 第2会議室
- 対象者：庄原市内各小・中学校の図書館担当者26名，学校司書10名

目的

庄原市における読書活動に係る取組の成果と課題及び学校司書の役割を理解し，児童生徒の主体的・意欲的な学習活動や読書活動を促進する学校図書館づくりについて研修することを通して，学校図書館担当者と学校司書が連携し，図書館の活用と児童生徒の読書活動の充実を図る。

講話 「庄原市子供の読書活動推進計画（第三次計画）を踏まえた各校の取組について」 庄原市教育委員会 教育指導課 指導係 指導主事 赤木 一成



【講話の概要】

- 平成28年度全国学力・学習状況調査及び平成28年度広島県「基礎・基本」定着状況調査の児童生徒質問紙の結果から，次のような課題が見られる。
 - ・家庭で読書をしていない
 - ・1ヵ月1冊も本を読んでいない児童生徒がいる
- これらの課題を改善するために，庄原市子供の読書活動推進計画（第三次計画）に示している，「本に親しむ」「たくさん読む」「目的に応じて読む」「本から学び自分の考えを深める」を指導者が意識して取り組むことが必要である。

講話・演習 「読書好きの子供たちを育てるために」 三原市立糸崎小学校 校長 西田 千加子



【講話・演習の概要】

- 読書は，変化の激しい社会を生きるために必須である。また，読書することで，生涯にわたって学び続ける力を身に付けることができ，人生を豊かにすることができる。
- 1冊の本，指導者の一つの声かけで，子供たちは，変容することができる。指導者が，子供たちの力を信じて，どのように成長してほしいか，そのために何をすべきかについて，校内でしっかり協議することが必要である。
- 一人一人の子供の姿を思い浮かべ，その子供のために，選書したり，本を通して寄り添ったりすることで，読書好きの子供たちを育てることができる。



【参加者の感想】

- ◆ 西田校長先生は，本当に本を大切にしておられるからこそ，子供たちが本を通して，どのように成長しているかが見えておられるのだと思った。私も，少しでも西田校長先生のように本の魅力を語れるよう，まず，「本を読もう」と強く感じた。「本を読むことは楽しいよ」と自分自身が心から子供たちに伝えることができるようになりたい。
- ◆ 明日からの朝読書の時間に子供たちが読んでいる本を把握し，「この子にはこのような本を」という取組をしてみたい。